

各支部長・専門部長 様

千葉県教職員組合 中央執行委員長 渡邊 郁哉

# 子ども支援千葉県連絡会、熊谷知事に署名提出！

子ども支援千葉県連絡会（21の教育関係団体で構成、千教組が事務局）は、12月22日、県本庁において、署名の提出をおこないました。教育関係団体をはじめ、PTA、母女、連合に加盟している企業、福利厚生団体、各級の推薦議員などからも署名に協力していただき、集まった132,715筆の署名を 千葉県 熊谷俊人知事に手渡しました。

子ども支援千葉県連絡会（千葉県市町村教育委員会連絡協議会会長）田中弘美会長は、「一人ひとりの子どもたちへの支援のために今以上の教職員を学校に配置する必要がある。学校、家庭、地域の教育活動の充実のために、さらなる教育予算の拡充をお願いしたい。」と要望しました。

また、古川事務局長（千教組書記長）は、

- ①子どもの健康と安全を守るための予算拡充
- ②指導充実のための県費負担職員の増員
- ③代替職員の完全配置

を柱とし、SSSの全校配置や学校施設の専門スタッフによる点検・修繕、SCの配置時間・S・SWの配置校数の拡大など、子どもの安全、安心の教育環境実現のための具体的な要望をしました。

熊谷知事からは、「日頃から千葉県の子どもたちのためにご尽力いただいていることに心から敬意を表す。いただいた要望はどれも重要である。人材が最も貴重な資源であり、教育について力を入れていきたい。人的な部分については多様な形で学校現場が回るように新年度予算編成も含めて考えていく。各市町村教委や教育関係者と連携し、子どもたちがいきいきのびのびと成長できるように取り計らっていきたい。」等、具体的な内容についても回答がありました。



【田中会長から熊谷知事に13万の思いを手渡す】



【教育関係21団体の代表と熊谷知事】

この署名は、各市町村教育長会、校長会、教頭会、PTAなどの教育団体がまとまり、教育を県民課題として一般の方々にも捉えてもらい、学校の現状を理解してもらうきっかけとなる大切な運動です。

一人ひとりのがんばりで、多くの署名が集まったからこそ知事に直接要望することができました。これからもその意義を理解し、意思をもって運動にとりくんでいきましょう。